



条例に基づいた区政会議の適切かつ円滑な実施を通達

城東区役所跡地利用に関して区政会議で協議するも、住民の声が反映されず、条例を再徹底

大阪日日新聞

2020年(令和2年)11月14日 土曜日

城東区旧庁舎跡地活用問題

朝川副市長 全区長に異例の訓示

住民への配慮不十分

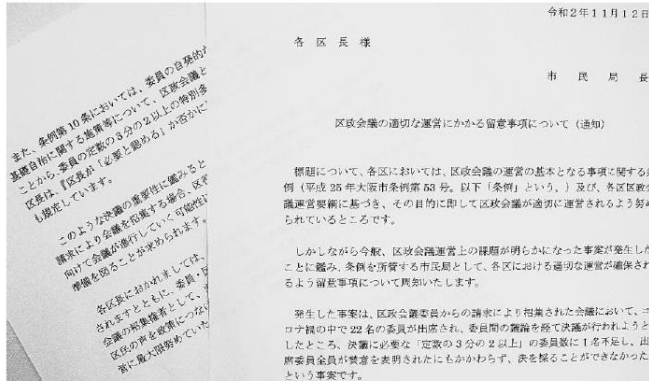
大阪市城東区の旧区役所庁舎跡地活用問題で、朝川副市長は13日、市内全24行政区の区長に対して「区政会議の適切かつ円滑な運営に努めてほしい」と異例の訓示をした。これに先立ち、市は12日、跡地活用策を審議した城東区役所を念頭に「配慮が十分でなかった」として、住民の区政参画意識をへくさないよう各区長に周知した。

区政会議 適切円滑な運営を

(深田巧)



オンラインで各区長に訓示する朝川副市長(右)13日、大阪市役所



各区長宛の市民局長通知。区政会議の適切な運営を求めている

各区長宛の市民局長通知。区政会議の適切な運営を求めている

各区長様
市民局長
区政会議の適切な運営にかかる留意事項について(通知)

跡地活用策を巡っては、住民側が、条例に基づいて区政会議委員の一定数の賛同を得て、区役所案の修正審議を要望。審議当日の出席数が定数「3分の2以上」にわずかに1人足りず決議に至らなかったが、地元選出の明石直樹議員(公明党)が市議会で、「新型コロナウイルス禍の中、欠席者に事後でも賛否を問うことができた」と指摘した。出席した委員の間にも、区役所による区政会議の運営に「不信感」が生じていた。

市は各区長宛の市民局長通知で、「区役所は委員間の自発的な議論を経て決議へ向けて会議が進行していく可能性について十分に考慮した上で、丁寧な運営・準備を図ることが求められる」と呼び掛けた。

市の対応について、明石議員は「城東区の事例が今後起きないよう、周知徹底することは一歩前進だ」と話した。

同跡地は、5社が競争入札に参加した10月の開札で、社会医療法人有隣会が落札。同区内の東大阪病院を新築移転する計画で、結果的に住民側が求めた救急医療整備が実現する。

